

安全対策の「好事例」は、是非他の現場でも参考に！

平成24年12月12日

～「第2回 静岡営繕事務所工事安全連絡会議」を開催～

静岡営繕事務所

静岡営繕事務所では、9月に「第1回静岡営繕事務所安全連絡会議」を開催し、静岡労働局より講師を招き、安全講話を行っていただきました。今回は、**より具体的な安全対策の指導**を行うため12月12日に、施工者11名、監理事務所3名、事務所職員等23名により、警察学校本館の新築現場において、島田労働基準監督署の小碓第二方面主任監督官による「**安全パトロール**」を実施し、あわせて**安全指導**を行っていただきました。「**安全パトロール**」では、主任監督官の指摘箇所を写真撮影し、後の安全指導でスクリーンに映し出す事で、**出席者全員にわかりやすく指導**していただく事ができました。

指摘内容では、レッカー作業で吊り荷の下に入らない様にする事、作業階への外部足場からの通路を2箇所程度確保する事（梁鉄筋組立てのため、1箇所外していた）、角部の落下防止ネットの緩み、足場入り口への最大積載荷重の表示等については是正するよう指導をいただきました。

また、**好事例として**レッカー作業中の職人達への声かけ、床開口部の仮設ふたのずれ止め対策（過去に未実施で転落事故があったとの事）、手すり付きの「可搬式作業台（通称「うま」）」の使用、足場に余分な資材がおかれていない事、型枠解体中の階への立入禁止表示、足場と躯体の間の落下防止ネットの設置、KY活動で予想される事故と対策の内容等について**評価していただき、他の現場でも是非参考にしてほしいとの話がされました。**

出席者からも、各作業場が非常にきれいである事や、レッカー作業中に今回の参加者にもしっかり声かけをしていて、安全に対する意識が高い。自分たちの現場でも、是非参考にしたいとの感想がだされました。

今回の会議で、具体的な事例による安全指導を行った事で、**各工事受注者の安全への意識の高揚を図る事が出来ました。**



静岡営繕
足場状況などチェック
県警察学校現場を安パト

国土交通省静岡営繕事務所は12日、藤枝市下之郷で進めている静岡県警察学校本館新築工事の現場で、島田労働基準監督署の小碓第二方面主任監督官を招き、足場をはじめとする現場の安全対策をチェックした。

冒頭、北原浩行所長は「これは機会に日頃の安全対策を再確認してほしい。年末年始を無事故で乗り切る」とあいさつした。パトロールでは、足場や開口部など墜落・転落の危険箇所の他、作業通路の状態などを確認した。

県警察学校本館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造5階（塔屋1階）建て延べ5300平方メートル、2014年1月の完成を予定。建築は鴻池組、電気は栗原工業、機械設備はダイダンで施工している。